



上菅田中学校だより

第3号 平成30年6月11日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する



絆～仲間と共に燃え上がれ！ 5月15日、青空の下、第49回体育祭が開催されました。上中生の本気の姿、団結する姿に元気と感動をもらいました。体育祭実行委員や係生徒のリーダーシップや仕事ぶりも立派でした。中学生が全力疾走する姿は実に格好良く、全員リレーは、どの学年も手に汗にぎる接戦でした。体育祭の最後を飾った3年生のYOSAKOIソーランの演技も圧巻でした。優勝は緑組、学年優勝は1年3組、2年3組、3年1組でしたが、勝敗を超え、競う者、演じる者、観る者すべてにとって心に残る体育祭となりました。ご声援いただいた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

修学旅行（1日目・広島～平和を考える日、2日目・京都～歴史や文化を考える日 3日目・奈良～人生を考える日）

5月29日から2泊3日で3年生が修学旅行へ行ってきました。1年生の時から積み重ねてきた平和学習の集大成として訪れた広島では、原爆ドームを前にガイドボランティアの方から原爆投下直後の様子を説明していただきました。多くの被爆者がご高齢になる中、「伝承者」と呼ばれる方々が被爆者の体験や記憶を継承する活動をすすめています。2日目は、ジャンボタクシーに分乗して京都の班別行動、3日目は奈良の薬師寺でお坊さんの講話（笑い満載の「おかげ様」と「幸せ」のお話でした）があり、東大寺で大仏を参拝し、奈良公園の鹿と戯れました。今回の修学旅行は、「歴史からのメッセージ～赤の仲間と希望の花を咲かせよう～」のスローガンの下、修学旅行実行委員の生徒が中心になり作り上げてきました。保護者向けの修学旅行説明会も生徒が主体となりすすめました。「赤学年」と呼ばれる今の3年生の集団としての雰囲気良さや前向きなリーダーシップと行動力が随所に感じられる、楽しく、学びのある修学旅行になりました。



♪上菅田中学校吹奏楽部♪が「ほどがや花フェスタ」に出演しました。5月19日、星川中央公園で開催された「ほどがや花フェスタ 2018」の野外ステージで、本校吹奏楽部が楽しい演奏を披露してくれました。

1年生部員も校外演奏デビューを果たしました。



富士山の麓でさわやかな風に吹かれて

～1年生自然教室終了！ 学級の絆がふかまりました～



副校長 内田 克弥

1年生にとって中学校に入学して初めての校外行事である自然教室が6月4日(月)、5日(火)の1泊2日で昨年同様富士山の麓、鳴沢村にある緑の休暇村を宿舎として実施されました。両日ともこの季節として珍しいほどの晴天で、どこへ行っても雄大にそびえ立つ富士山を眼前に眺めることもでき、高原のさわやかな風に吹かれながら、子どもたちは元気に活動し、たくさんの思い出をお土産に帰ってきました。

1日目は緑あふれる河口湖総合公園で昼食をとった後、最初のプログラムである三湖台展望台へのハイキング。思いのほか日差しが強く、気温が上昇する中でも子どもたちは元気に険しい道を登って行きました。展望台では、その名の通り西湖、本栖湖、精進湖とその間に広がる青木ヶ原樹海を一望することができ、また反対側には富士山と、素晴らしい風景が広がり、気持ちいい風が吹きぬけていました。子どもたちは疲れも忘れ、雄大な風景をバックにして、笑顔で写真撮影をするなど、楽しい時間を過ごしました。

その後、緑の休暇村に入って入村式。部屋に入ってから多少興奮気味の人もいたようです。

夕食後は、青木ヶ原樹海のナイトウォーク。インストラクターさんを先頭にして、クラス全員で真っ暗な深い森に入りました。横浜では経験することができない闇と静けさ。聞こえるのは鳥の鳴き声と風の音…そして夜行性のヒメネズミの姿……。本当に非日常的な経験でした。



2日目は、まずは昼間の樹海体験。インストラクターさんの話を聞きながら、クラスを半分に分けて、昼間の森を散策しました。インストラクターさんから溶岩の上でできた樹海の成り立ちや生い茂る木々の種類などを説明してもらいながら、前夜とは違う姿の樹海を堪能しました。最後に入った洞穴「コウモリ穴」では、こうもりには出会え

なかったですが、ヘルメットをかぶり、暗くて狭い、そしてひんやりとした洞穴の中で頭をぶつけながら歩くことで、樹海の地下の様子を体感することができました。

2日目の昼食はバーベキュー。目の前にそびえる富士山を見ながら、肉や野菜をおいしそうに頬張っていました。

退村式を終え、休暇村に別れを告げた後、富士山五合目へ。午後から雲が出てきたため、残念ながら五合目からは富士山を見ることはできませんでした。しかし、子どもたちは富士山よりもメロンパンやソフトクリーム、お土産に夢中だったようです。

行き帰りのバスの中でもバスレクに楽しそうに取り組むなど、この2日間は子どもたちにとっても笑顔の絶えない2日間になりました。また、学年、学級で今まで以上に仲が深まったと思います。

この自然教室で学んだことを学級での活動、行事、部活動などで生かし、中学校生活がさらに充実したものになるよう願っています。